



### CROSS TALK 人財公募

2023-06-29 10:00 Shimizu Amai IoT Member

コニカミノルタでは「人財公募制度」という社内でも自立的に異動ができる制度があり、活発に利用されています。今日は、FORXAI事業統括部に人財公募制度を活用して異動してきた2人が今の気持ちをご紹介します。

武藤 光 Hikaru Muto 2011年度入社。複合機のアプリケーションプラットフォーム開発に従事。2017年よりチェコの開発拠点にて現地メンバーと共に次世代複合機の開発に従事。2020年の兼任後は教育ソリューションであるtomolinksの開発に従事。2022年より人財公募で現在のFORXAI事業統括部へ異動し、高槻拠点にてIoTプラットフォーム開発を行う。

清水 亜麻衣 Amai Shimizu 2017年度入社。ヘルスケア事業部にてレントゲン画像の画像処理及びAI開発に従事。2023年5月より人財公募で現在のFORXAI事業統括部へ異動し、八王子拠点にてIoTプラットフォーム開発を行う。

#### 目次 (非表示)

- 1.人財公募制度とは
2.CROSS TALK
2.1.仕事終わりにて
2.2.まずは武藤さんの経歴について教えてください！
2.3.次に清水さんの経歴を教えてください！
2.4.人財公募に挑戦しようと思ったきっかけは何ですか？
2.5.現部署の仕事である「IoT Platform」とは？
2.6.今の仕事についてもう少し教えてください！
2.7.今の部署はどうですか？
2.8.異動前と後でギャップはありましたか？
2.9.社内転職した現在の心境は？
2.10.今後の抱負を教えてください！
3.引用

### 人財公募制度とは

自分で手を挙げて異動できる制度です。「社内転職」と呼ばれることもあります。人財公募制度は、1) トランスフォーム実現のための組織力強化・人材補強、2) チャレンジ意欲のある従業員のカリヤ形成支援、3) チャレンジングな風土醸成、の3つの目的を持っています。

### CROSS TALK

武藤さんは半年前、清水は5月に、コニカミノルタの人財公募制度を活用して異動してきました。今日はそんな2人に、人財公募や仕事内容について、仕事後のゆったり時間を語ってもらいます。

#### 仕事終わりにて

清水：お疲れ様です！今日は疲れましたね～
武藤：疲れましたね～
清水：じゃあ早速ですが始めて行きましょう
武藤：そうですね、よろしくお楽しみします！
清水：お願いします！

#### まずは武藤さんの経歴について教えてください！

武藤：2011年度に入社し、複合機のアプリケーションプラットフォーム開発の部署に配属されました。国内外の販社と共に、次のプラットフォームにどんな機能を載せれば、お客様に価値のあるアプリや機能を提供できるかということを検討し開発する仕事をしていました。今思い返すとやりがいもあって楽しかったですね。入社からずっとソフトウェア開発の職種という点は変わってません。
清水：おお～
武藤：2017年からはサーバー一体型複合機の製品開発チームに入りました。チェコの開発拠点に赴任し、現地メンバーと共にスクラム開発メンバーの一員として開発やテストコード実装などを担当しました。チェコ以外にもフランスやドイツなど販社の人とワークショップなどもしてましたね。
清水：ふんふん。
武藤：2020年に日本に帰任してからは、教育ソリューションである tomolinks (C1) の開発メンバーとして主にバックエンド側の設計実装を担当していました。実際に小学校を訪ねて現地の使われ方を見学させていただいたり、展示会の説明員として来場された教育関係者の方々に説明したり、といった経験もさせてもらいました。
武藤：昨年度、2022年9月に人財公募で、今の部署に異動しました。

清水：結構海外の方とのやり取りが多かったんですね～
武藤：言われてみたらそうですね。今も英語が得意という程ではないですが、戻別はつきました。
清水：すごい。個人的に色々興味ありますが時間足りなくなっちゃいそうなんでもた聞かせてください！

#### 次に清水さんの経歴を教えてください！

清水：私は2017年度に入社して、ヘルスケアの部署に配属されて、単純X線画像いわゆるレントゲン画像を作る画像処理やその先のAIにも少し足っ込んで開発をしています。
武藤：昨年公募に応募しまして、面接などを経て、この5月にこちらの部署に異動してきました。
清水：ずっとヘルスケアだったんですか？
武藤：ずっとですね～。

#### 人財公募に挑戦しようと思ったきっかけは何ですか？

武藤：FORXAIに魅力を感じたからです。1つ目の魅力は、パートナー様とコニカミノルタの技術を持ち寄り、高単価顧客課題を解決できるということ。もう1つは、特定の業種ではなく様々な業種に展開しているところ。自分もそのメンバーの一員になって、社内外の課題解決に貢献したいと思っ応募しました。
清水：私は社内研修の講師をする機会や仕事外のイベント企画など、また仕事で病院の放射線技師の方々と共同研究を通じて、「人」と関わる経験が多かったことから、医療の枠を超えた分野へ実際の使いやすさを考慮したユーザービリティに関わる開発がしたいと思ったことがきっかけで応募しました。

#### 現部署の仕事である「IoT Platform」とは？

武藤：FORXAIの機能を利用するためにAIをデバイスに配置したり遠隔からデバイス管理するなど、基盤になる部分です。今後もデバイスAIの組み合わせでの価値を高めていくためには無くてはならない存在です。
清水：デバイスとAIを繋ぐものでしょうか。
武藤：ええ、そうですね。それにFORXAIのパートナー様同士や互いに持ち寄り技術もIoT Platform上で繋がりますし、様々なものを繋ぐ役割を担っていると思います。
清水：うんうん。
武藤：ですので、パートナー様やその先のお客様の要望を解決するためには、IoT Platformの進化はFORXAIの価値を底上げしていくのに重要だと思っています。
清水：「底上げ」私もイメージと近いかもしれません。やっぱりAIがあってデバイスがあって、価値を最大限に発揮できるのはプラットフォームの良さだと思いますか？
武藤：そうですね。

#### 今の仕事についてもう少し教えてください！

武藤：IoT Platformの開発チームではフロントエンドを担当しています。マネジメントコンソールと呼ばれるところで、デザインセンター（デザイン企画・製作の会社横断組織）と提供機能はどんな課題を解決したいのかということから、UI/UXを設計・検討します。検討したものをビジネス担当、運用担当をされる方やFORXAIを利用している方々にレビューをいただきますがブラッシュアップもします。そこから詳細画面仕様の設計、実装、評価まで携わっています。
清水：うんうん。
武藤：難しいところももちろんありますが、技術者として楽しいところを担当させてもらっていると思っています。業務を通じて新しい技術に触れる機会も多いです。
清水：おお～！

#### 今の部署はどうですか？

清水：一日が早くないですか？異動して間もないので、まだやってることは単純なんですけど、なんか気づいたら一日終わってて、武藤：いやわかりますそれ。一週間もめっちゃ早いですよ。
清水：今日木曜なのすごくびっくりしました。
武藤：そうですね。金曜の方とかに「あれ！？」みたいな。
清水：(笑)
武藤：まあでも、やっぱり自分の属した環境に置かせてもらえてるのすごく嬉しいですね。

#### 異動前と後でギャップはありましたか？

武藤：チャレンジさせてもらいやすいと思います。「このタスク、誰かやりませんか？」というタイミングの時々あるのですが、「やりたいです」というと早くやらせてもらえます。異動してすぐのときでも、色々チャレンジさせてもらったりしました。こういう雰囲気は良いなと思います。
清水：うんうん。
武藤：それと、技術や経験をチーム内に共有する文化があって、すごく良いですね。業務での取り組みや工夫を頻りに共有しています。
清水：私もTeamsでの情報の取り組み好きです。
武藤：思ったことバツと書いて、みたいな。今の方が活発な気がします。
清水：確かに結構コミュニケーションが活発だなぁって思いました。

#### 清水さんはどうですか？

清水：そうですね、一番のギャップは部署メンバーの半分が高槻にいてることでしょうか。
武藤：あ～。
清水：ミーティングが全部オンラインになる状況は初めてで、最初は結構びっくりしました。
武藤：そうですね。自分は前の部署もそうだったんであまり違和感はありませんでしたが、言われてみたらそうですね。半分に分かれてる。
武藤：高槻は自分を含めておさんチームですね。
清水：いやいやいや (笑)

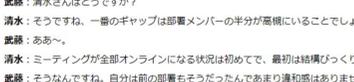
#### 社内転職した現在の心境は？

武藤：新しい環境に飛び込んで良かったと思っています。先ほどお話ししたように新しい技術とか知見を得る機会も多いですし、それを業務に活かすことも多いので、やりがいに繋がってます。あとは、FORXAIのコンセプトに惹かれて異動してきたので、私も携わったIoT Platformの新しいバージョンリリースを控えています。これからパートナー様と先のお客様の課題解決のための機能拡張が活発になっていくと思いますので、そこに貢献していけるのも楽しみだなと思っています。
清水：私は結構、これからのできるのかなという不安はありますね。5月はとりあえずFORXAIパートナーサイトのセミナー動画をひたすら見ました。

#### 今後の抱負を教えてください！

武藤：開発チームに所属していますが、パートナー様との距離を縮めていきたいです。直接お話しすることで新しい課題を見つけたり、スピード感のある課題解決に取り組みたいです。また社内でもFORXAIに関わる人達とも、もっと関わってきたいです。部署やチームは分かっていますが、一つのFORXAIチームとして、
清水：私は、まずは自分がやりたいと言ったUI・UXをしっかり聞いて、自分のものにして行きたくないという気持ち強いんですね。なので、武藤さんが仰ったような、社内や社外の人達と話し合いながら、ということ、パートナーの方々と、さらに先の提供されるカスタマーへ顧客価値が高められるようなユーザー体験設計ができていたら良いなと思っています。
武藤：素晴らしいと思います。
清水：ありがとうございます。
武藤：せっかく人財公募で異動してきたので活躍したいですね。
清水：そうですね、頑張りたいですね！

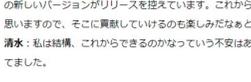
清水：そろそろ時間ですね。お忙しいところお付き合いいただきましてありがとうございました！
武藤：いえいえ、こちらこそありがとうございました。



### 引用

\*1: tomolinks

子ども一人ひとりの学びを成長に導く 教育業界向け学習支援サービス



コニカミノルタは画像IoTプラットフォームFORXAIを通じて、お客様やパートナー様との共創を加速させ、技術・ソリューションの提供により人間社会の進化に貢献してまいります。

新卒採用については以下の採用情報ページをご覧ください。

新卒採用情報 - 採用情報 | コニカミノルタ
コニカミノルタの新卒採用サイトです。募集要項や就職情報などの採用情報から、プロジェクト紹介、社員インタビューなどを掲載しています。ぜひご覧ください。
KONICA MINOLTA

中途採用に関する情報については以下の採用情報ページをご覧ください。
キャリア採用情報 - 採用情報 | コニカミノルタ
コニカミノルタキャリア採用情報 現在の募集職種にはこちらからエントリー可能です。募集要項、先輩インタビュー、人事からのメッセージなどを掲載。
KONICA MINOLTA

Shimizu Amai
FORXAI事業統括部 アーキテクチャ開発部。2017年度入社しヘルスケア部門にてレントゲン画像の画像処理及びAI開発に従事した後、2023年5月より異動してIoTプラットフォーム開発に携わっています。

前の記事 2023 印刷DXに出展しました
次の記事 コニカミノルタテクノロジーレポート



> 複合機/複写機 > プリンター > 光学製品 > 計測機器 > 濃度計 (紫外光濃度計)
> CR (コンピュータグラフィクス) > DR (デジタルグラフィクス) > 産業用インクジェット

